

質問番号 10 - ②

平成28年第4回定例会

答弁資料（一般質問）

一問一答方式

質問者 中西 智子 議員

質問要旨

2. 「船場地区の文化施設とまちづくり」について

- ① 船場東新駅周辺の文化施設の整備方針について
- ② 市民協働のまちづくりについて

答 弁 者 子ども未来創造局担当部長

(生涯学習担当)

## 2. 「船場地区の文化施設とまちづくり」について

### ① 船場東新駅周辺の文化施設の整備方針について

- ①-1 文化施設の整備について、どのようなスケジュールで検討を進めているのか。また、モデルプランで検討している施設の内容、規模等がどのようなになっているのか。

#### <答弁>

文化交流施設の整備スケジュール及び施設概要について、ご答弁いたします。

まず、文化交流施設と図書館の整備スケジュールですが、現在、PFI手法による整備を視野に入れ、整備手法の検討を行っているところです。PFI手法による整備を行う場合は、平成29年度中にPFI手法の採用の決定と、事業者からの提案に基づくPFI事業者の選定及び決定を行い、平成30年度に設計、平成31、32年度の2年間にわたる工事を経て、平成33年春のオープンをめざしています。

次に、現在想定している文化施設の内容、規模等についてですが、現在、会議室や音楽スタジオなどを検討しており、規模については、図書館を含め延べ床面積約11,000㎡の規模を想定しています。

以上でございます。

(追加質問)

①-1-2 基本構想はいつ頃示されるのか、市民参加のワークショップ等についてもどのように検討されているのか。

<答弁>

基本構想の提示時期及びワークショップについて、ご答弁いたします。

従来の手法として、市が直接施設を整備する場合、まず基本構想を策定し、それに基づき基本設計を行い、実施設計を経て、工事に着手するという流れになりますが、PFI手法においては、基本構想に相当するものとして、「モデルプラン」を作成します。現在、モデルプランは作成済みで、年始早々には公表する予定です。

次に、市民参加のワークショップについてですが、今回整備する文化交流施設は、グリーンホールやメイプルホール同様にホールと会議室等を一体的に整備するものであり、改めて市民参加でご検討いただく内容ではないと考えています。また、平成28年1月以降、鉄道延伸や周辺まちづくりに関して、市民説明会を5回、出張説明会を15回開催し、きめ細かな説明とご意見等も伺ってきていることから、市民参加のワークショップの開催は考えていま

せん。

以上でございます。

①-2 萱野南図書館の移転にかかる大阪大学との協議の進捗状況について問う。

<答弁>

萱野南図書館移設に関する大阪大学との協議の進捗状況について、ご答弁いたします。

本年6月以降、大阪大学本部、外国語学部事務関係者、図書館関係者、教職員と箕面市とで「公共施設整備小委員会」を設置し、情報共有や意見交換を3回実施、さらに、担当者レベルでの意見交換を随時実施しています。その内容といたしましては、新たに設置する大阪大学箕面キャンパスと市の文化交流施設、図書館など、公共施設の整備とその方向性、開館時間等基礎条件の確認、さらには、箕面市立図書館のサービス内容の共有等を図っているところです。

以上でございます。

(追加質問)

①-2-2 図書館の開館日や時間については、大学の試験期間や休暇期間に関わらず、開館されるのか。

<答弁>

図書館の開館日及び開館時間について、ご答弁いたします。

開館日・開館時間の詳細につきましては、今後、大阪大学と検討していきませんが、少なくとも現在の市立図書館と同様の開館日・時間等にしていきたいと考えています。

以上でございます。

①-3 市の図書館事業を実施するに当たり、指定管理する大学側にどのように了解を得ているのか。

<答弁>

大阪大学による市立図書館の運営についてご答弁いたします。

平成27年6月に大阪大学箕面キャンパスの移転に関して市と大阪大学の間で覚書を取り交わした後、キャンパス移転にかかる諸課題について大阪大学と協議するなかで、市立図書館に大学図書館が融合した新たな市立図書館を整備するというプランの検討を行って参りました。

大阪大学による市立図書館の運営にあたり、大学図書館の運営とは異なる例えば読み聞かせなどのサービスが加わることにつきましては、この検討の過程におきまして、大阪大学にも十分ご理解いただいております。その上で、平成28年4月に正式に合意したものでございます。

以上でございます。

①-4 萱野南図書館を指定管理することについて、もっと議論を深めるべき。議論がないままのアクションプランの方向転換は認められない。

<答弁>

指定管理についての議論とアクションプランの方向転換について、ご答弁いたします。

「箕面市知の拠点づくりアクションプラン」は、業務の効率化により生み出した財源により図書館サービスを充実させ、かつ、図書館空白地帯に新たな図書館を作るという方針のもと、そこに至るまでの道筋を具体的に示したのですが、その一つとして市が直営を続けることを示したのは、あくまで、アクションプラン策定当時の図書館を取り巻く各種資源を前提としたものです。

今回、利便性の高い駅前という立地に、蔵書60万冊を所蔵する大学図書館と11万冊所蔵の市立図書館を融合させることで生まれる新たなサービス資源を、いかにシームレスに提供するかという命題に対し、大阪大学が指定管理者として一体的に管理運営することによるサービスの充実や、無償で指定管理業務を行っていただくことによる大幅な運営経費の圧縮も行えることも踏まえ、指定管理者制度の導入が最適な解であるとしたものです。



なお、図書館協議会には、萱野南図書館の移転や運営の方向性について、概略を説明していますが、運営の具体像が見えてきた段階で、改めて説明したいと考えています。  
以上でございます。

(追加質問)

- ①-4-2 生涯学習施設は、利用料金制となった場合、現状の料金体制がきちんと守られるのか。誰もが利用しやすいよう配慮されるのか、減免制度等も整備されると考えてよいのか。

<答弁>

利用料金及び減免制度等の整備について、ご答弁いたします。

会議室、音楽スタジオ等で構成する文化交流施設は、指定管理施設として運営していく予定であり、利用料金及び減免制度を設定又は変更については、市の承認に基づいて行っていくこととなります。

具体的な利用料金及び減免制度については、今後、大阪大学と調整していきませんが、他の生涯学習センターや同等規模の他市施設の利用料を参考に当該施設の立地も踏まえ、料金設定の調整を行っていくこととなります。

以上でございます。

## ② 市民協働のまちづくりについて

### ②-1 萱野南図書館の移転について市民への説明と声の収集はどのようにするのか。

<答弁>

萱野南図書館移転に係る市民への説明等についてご答弁いたします。

まず、萱野南図書館の現状は、施設規模からみて、利用者数が非常に少ない状況にあります。その要因ですが、利用者からは「場所が奥まってわかりづらい」「坂が多く徒歩などによる来館がしにくい」といったご意見を頂戴しており、図書館へのアクセスのしづらさが大きな要因と考えています。

箕面市議会地域別意見交換会で、萱野南図書館移転について反対のご意見があったところのご指摘ですが、担当部局で確認いたしましたところ、新御堂筋西側住民の一人から「東側にメリットはあっても西側のメリットは何も感じない」とのご意見があったこと、また、「船場の街づくりを進めていく中で、萱野南図書館等の情報も積極的に提供等して欲しい」旨のご要望もあったことは確認しておりますが、その他に具体的な反対意見があったとは聞いておりません。

市民への説明と意見収集につきましては、萱野南図書館の移転に限らず、新駅周辺のまちづくりにおける各種説明会等での情報提供や、議会でのご議論を通じて市民の方への周知を図って参りたいと考えております。

以上でございます。

②-2 文化交流施設は、社会教育施設として整備するよう要望しているが、市の見解は。

<答弁>

文化交流施設の位置づけについてご答弁いたします。

文化交流施設は、社会教育の範疇を超えた多種多様な市民の自主活動で利用していただくことを想定しており、法的には、地方自治法第244条の2に基づく公の施設として条例で定めていく考えです。

文化交流施設においては、大阪大学が指定管理者となることのメリットを活かし、大学が有する知的資源などを最大限活用した講座の開催なども可能と考えており、これにより、市民の幅広い活動の拠点の一つとなっていくことが可能と考えています。

以上でございます。

②-2 船場東のまちづくりに市民がどのように参加・参画できるのか。

<答弁>

(仮称)箕面船場駅周辺のまちづくりにおける市民の参加・参画についてご答弁いたします。

市としても、まちづくりにおいて市民参加が果たす役割は非常に重要であると認識しており、船場のまちづくりに関する方向性につきましても、市民参加で策定された第五次箕面市総合計画で既に記載されています。また、船場東地区は既に一度、土地区画整理事業が実施された場所で、地権者組織である大阪船場繊維卸商団地組合がまちづくりのためのマスタープランを策定するなど、地権者自らがまちづくりに取り組んでおられます。

市といたしましては、これまで、出張説明会等を通じて、市民の皆さんに鉄道延伸と新駅周辺に関するまちづくりについて説明し、様々なご意見をいただいていた経過があります。さらに、船場に整備する文化ホールについて検討を深めるため、新たに箕面市新文化ホール整備審議会を設置し、公募市民の方も含めて、様々な知見をお持ちの方々にご審議をいただく予定です。

今後ともこれまでと同様に、適切なテーマ、タイミング、

手法をもって市民参加を進めてまいります。  
以上でございます。